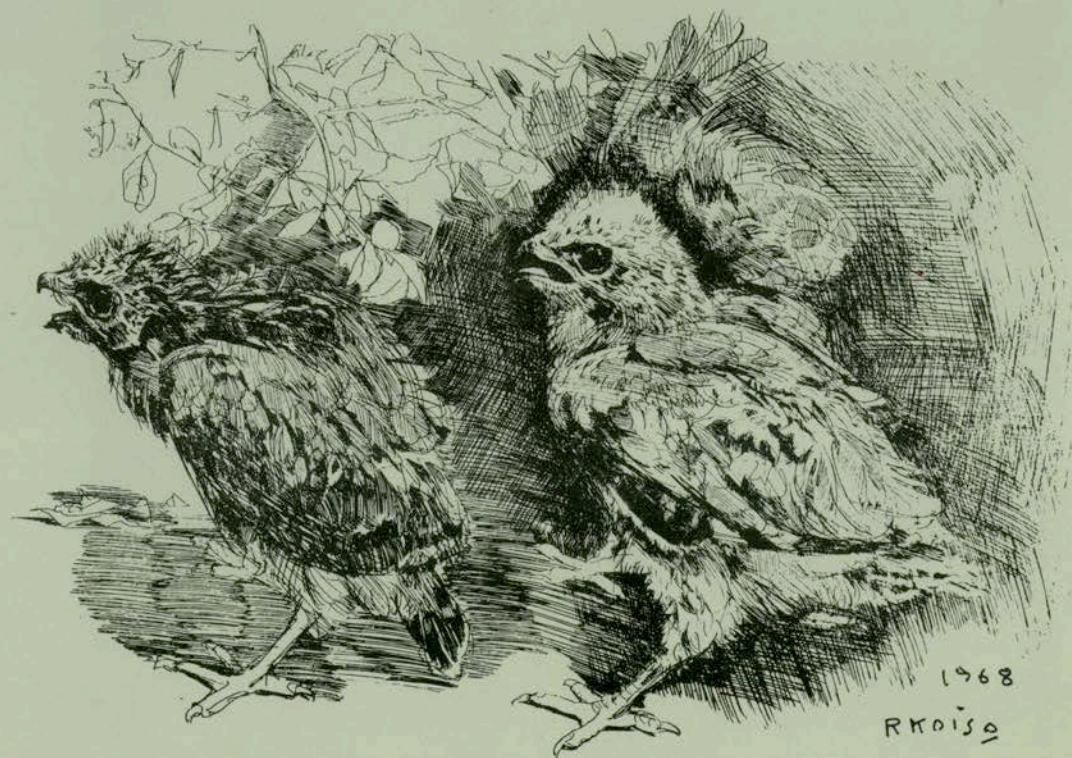


THE KOBEKKO NO.101
SEPTEMBER 1969

★郷土を愛する人々の雑誌★


神戸っ子

9



MIKIMOTO

晴の姿に気品をそえる
ミキモトパール
その優雅な輝きは
花嫁姿を一層美しくします
生涯の記念に
ミキモトの装身具を
お選び下さい

 御木本真珠店

神戸店 = 三ノ宮 - 神戸国際会館

TEL. 22-0062

大阪支店 = 堂島 - 新大ビル

TEL. 363-0247

大阪 = 阪神・阪急・松坂屋・高島屋

本店 = 東京 - 銀座4丁目 TEL. 535-4611

©1969-9

猫の眼
鳥の眼
本の眼が捉えた風の音

詩+絵 / 津高一

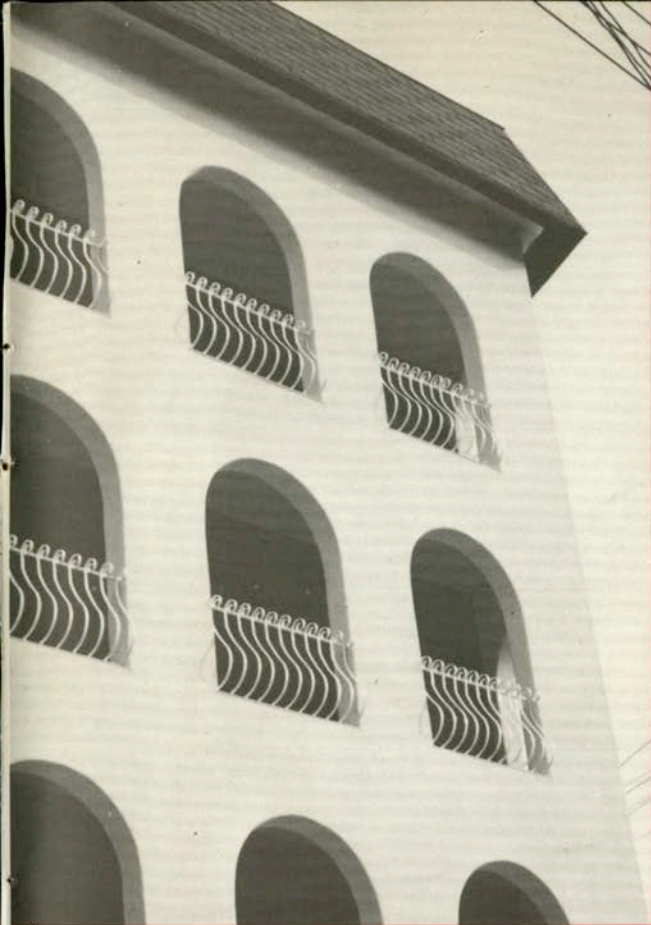


W. Put a / a

住宅シリーズ②

Hotel Hawaii

ヨーロッパ的な建物で、外装全面に飾り窓をつけて
内と外の断絶感を感じさせない様配慮して
照明機能と造形空間構成とのバランスをもたせた



舶来ムード  照明の店

モトデン

本社★神戸市生田区元町6丁目26344196
工場★神戸市葺合区琴緒町1ノ10228947

光のパイオニア

企画から開店まで
アイデアの

神戸日建

建築設計施工 店舗改造
神戸市生田区中山手通3丁目
PHONE 22-7172・6052

**KOBE
NIKKEN**

●神戸っ子'69

——中西かず子

〈第16回海の女王〉カメラ・米田定蔵

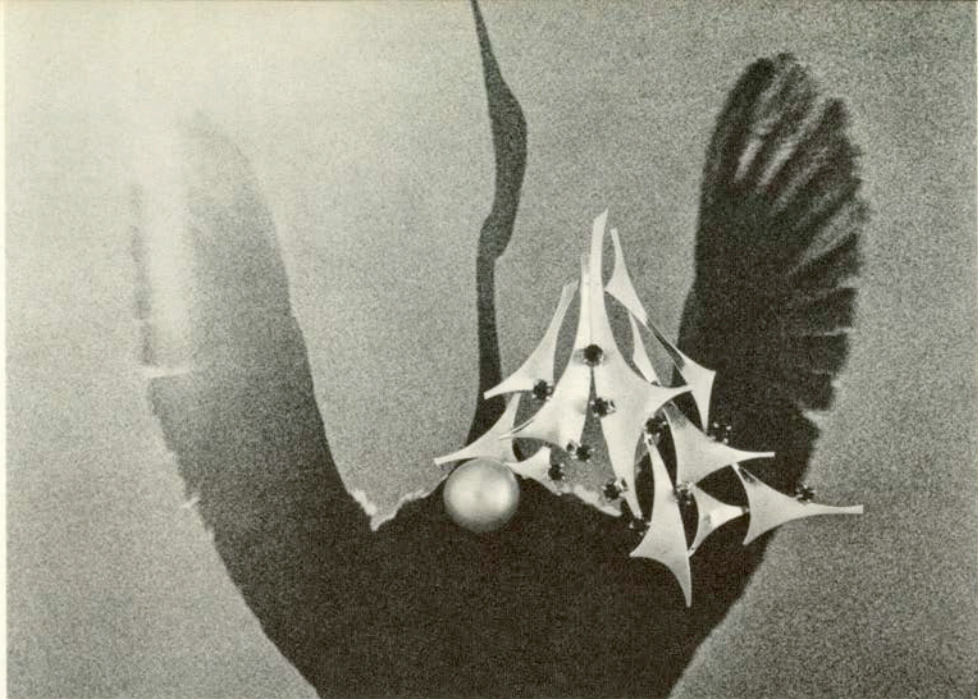
海が白く割れると、遊覧船に歓声が湧く。航跡が消える先に外国船の影が映える。

中西かず子。国際港都の美の使節である第16回海の代表女王に選ばれる。親和女子大学を一年で中退、以来、中西家の主婦がわりとだけあって万能選手だ。その家事を抜けて太平洋大学でアメリカに行ったのが、海の女王に応募する気持を抱かせたようだ。

多趣味と多芸に溺れず、日曜日にはカブスカウトのリーダーとして山登りをするというから、実にさわやかな現代っ子だ。でも、今度は船でヨーロッパに行きたいワと、まぶしげに海を見た。兵庫区在住、19才。

(写真左・中突進にて写真下、前女王の田口純子さんより王冠を受ける)





TASAKI PEARLS

田 崎 真 珠

本 社・神戸市灘台区旗塚通 6-9
三 宮 店・神戸新聞会館秀品店内
パールギャラリー・神戸市灘区六甲台町 2-4
銀 座 店・東京都中央区銀座西 6-5
パールファーム・溜池電停前(ショールーム)
ヒルトン店・東京ヒルトンホテル内
オータニ店・ホテル・ニューオータニ内
札 幌 店・札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークのお店で
日本真珠小売店協会加盟店



●神戸っ子'69

橘谷 健

〔川崎重工野球部・投手〕

カメラ・米田定蔵

砂塵の中に球が消える。汗がユニフォームに滲み、右腕が重い。それでも、投手は孤独の作業を続ける。

橘谷健。川崎重工を九年振りに都市対抗野球に出場させたエースである。東大時代、頭腦的なピッチングで神宮を湧かせた彼は、予選五試合中四試合完投、43イニング失点3という健腕をふるった。

野球をやりたい、その希望で、神戸機械事業本部管理部管理課に配属。これからは仕事と両立させるのが大変です、と課題を語る。

神戸は初めてで、工場とグラウンドを往復する毎日だが練習の合間に、神戸はいいですね、と山を仰いだ。

(写真・川重魚崎グラウンドにて、西井監督と談笑する)



Tajima
タジマ

* 宝飾店

元町2・TEL ③ 0387・2552

確信を持って
タジマの眼が選んだ
宝石の名品



* タジマでは、宝石の鑑定を無料で
ご相談に応じておりますので
お気軽にご利用ください

あ る 葉 い

光風会

神戸支部



人は戦うことよってのみ
なにかを獲得する。そうして
芸術において戦いと、人間
に与えられた苦痛である。

光風会神戸支部は、そのス
ローガンによって歴史を表現
している。

昭和二六年七月、明光会と
して結成された神戸支部は、
今年で二十年を迎え、さる八
月二四日、オリエンタルホテ
ルで式典を持ち、久本弘一、
川端謹次氏ら創立者の労をねぎ
らった。

「他人を感動させようとす
るなら、まず自分が感動せね
ばならない」時代を十年前に
終えた光風会は、秋は日展に
出品するというアカデミック
な製作姿勢をとりながらも、
伝統に裏打ちされた画風を越
えた新具象の方向が出されて
いる、という。それは、他の
絵画サークルに比して、実に
地味な遅々とした変化ではあ
るが、それだけより確実と
現代の転換期を迎えていると
いえよう。

毎年、無鑑査を含み日展入
選十五名前後という実力本位
の光風会神戸支部であるが、
この二十周年を機に、噴水と
山陵を背景に野外作品展を開
くぐらいの「戦い」を持って
もらいたいものだ。

写真右から

安部武(高砂) 角卓(東灘)

藤原昭三(灘) 吉田道良(兵庫)

佐野小太郎(長田) 田中祐一(高砂)

岩本隆善(加古郡) 久本弘一(真谷)

東浦好洋(長田) 矢野馨(灘)

かねこ

パールサロン

●花嫁とパール

秋のおとずれ。

静楚な花嫁の姿が美しい時
真白のウエディングドレス
に、貴品と初々しさをそえる
パールは、愛の日を飾る
にふさわしいアクセサリ
二人の幸せを結ぶパールリ
ング。花嫁を飾るネクレス、
イヤリングなど、デザ
イン、品質ともに最高の「か
ねこパール」をおすすめいた
します。

おしゃれをリードする……

金子真珠

神戸=神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824

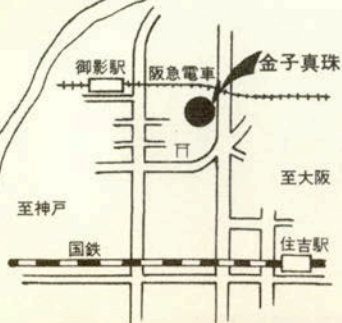
Tel. <81> 2881-3

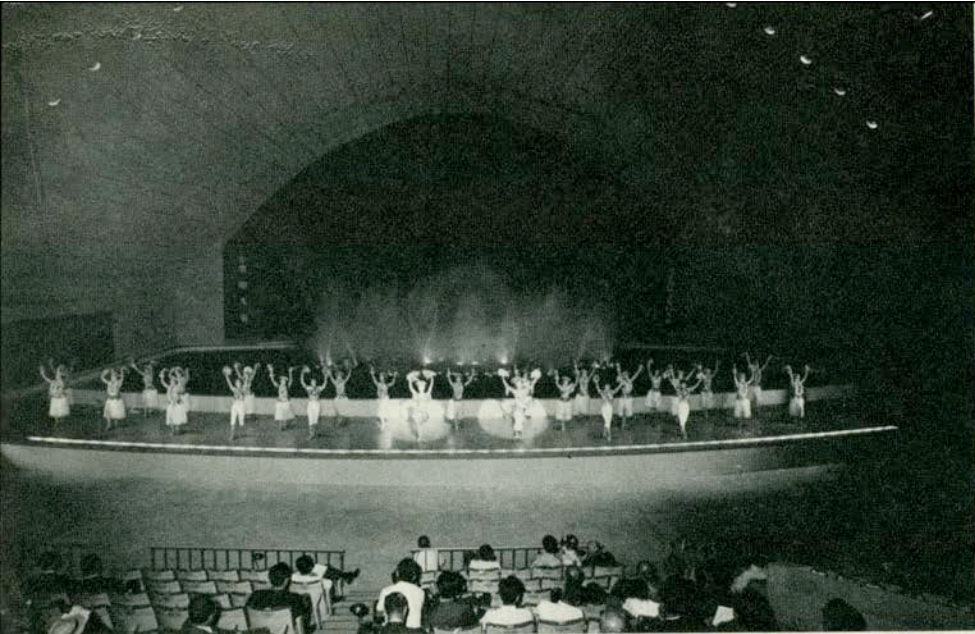
東京=東京都中央区銀座7丁目8-5 金城ビル

Tel. <573> 1775

長崎=長崎市大黒町14-5 長崎ビル

Tel. <22> 1537





写真上・噴水を背景に舞台いっぱい
ショーがくりひろげられる
中・遠く淡路島を望む須磨浦遊
苑の緑にこもる噴水パレス
下・挨拶する山陽電車深水社長



須磨浦が眼下に広がる
鉢伏山上で、光と水と色
の跳躍が始まった。広い
ドームが一瞬静かになる
と、一条のライトが舞台
を照らす。アンネンボル
カが流れる。噴水が踊る。
音が昂まる。色が踊る。
音楽とコンピューター
の結合「ドレミファ噴水
パレス」が、山陽電車の
須磨浦遊苑に七月十八日
オープンした。
八八〇本のノズルが、
音の高低と強弱を七色に
変えて噴水の形を動かす
る。噴水を囲む舞台では
ハワイアンが強烈なリズム
を奏でる。音を観賞す
るパレスだ。
階段状に五五一の座席が
設けられ、お茶を飲みな
がら噴水とショーが楽し
めるドレミファ噴水パレ
スは、神戸市民の新たな
憩いの場となろう。



光と水と色の跳躍

ドレミファ噴水パレス完成





村田*真珠/銀座山岡*毛皮/船来婦人服飾



さんちが*レディスタウン・TEL 39-3886-7

有限会社・タイグレス

神戸店・神戸市生田区山本通り4-97
村田真珠本社内TEL (078)23-1212-6
東京店・東京都中央区銀座8-2
山岡毛皮店内TEL (03)572-0021-2



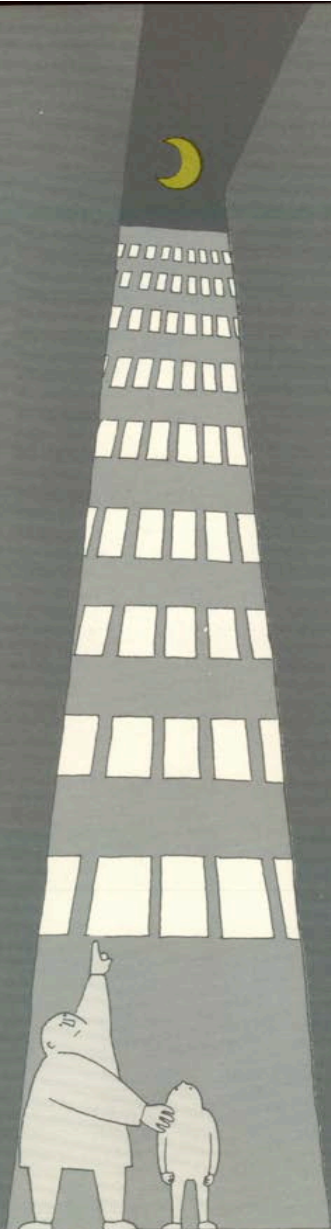
● 秋の花嫁に贈る優雅なムラタパール

これは神戸を愛する人々の手帖です
 あなたのくらしに楽しい夢をおくる
 神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ
 これは神戸っ子の心の手帖です

●神戸っ子9月号目次

表紙—小磯良平

Second Cover / 津高和一	1
神戸っ子'69 / 撮影・米田定蔵	3
	①中西かず子 ②橋谷健 表
ある集い / 「光風会」	7
コウベスナップ / ドレミファ噴水	9
わたしの意見 / 佐野蓮箕	13
随想三題 / 神戸・こうべ・コウベ・奥田善己	15
ギリシャの山奥で・中村茂隆	16
晴れたり曇ったり・菊田一郎	17
れんさい随想(4) / ミナト哀愁・林田重五郎	21
随想 / 人類の月着陸に思う・皆川 理	24
随想 / 旅行者・重森 守	26
神戸るぼ / 兵庫運河	29
経済ポケットジャーナル	35
神戸のアーバンデザイン / 水谷頼介十	36
神戸のモダンリビング / チームUR	37
技術ジャーナル / 諸岡博熊	38
神戸の集いから	41
ポルトガル便り / 中西勝・咲子	42
ヨーロッパ人旅 ローマから香港へ / 小泉康夫	44
オートバイ旅行記⑤ / 大迫嘉昭	49
CINEMA② 愛のかたち / 淀川長治	50
シリーズ・コミックス / かん詰をあげろ③・岡田 淳	52
動物園飼育日記④⑨ / 亀井一成	54
国際港都で開かれたハワイアンナイト	68
座談会 / 男と女のお話	84
元町タウン・ジャーナル〈9月〉	94
神戸遊戯誌⑦⑫ / カヌー(2)青木重雄	98
ムッシュ・ド・コウベ 田中国夫 / 竹田洋太郎	100
へんなページ⑧ / 向井修二	102
神戸百店会だより	109
ポケットジャーナル・花時計	110
連載物語第24回・非悪童物語 / 足立巻一	114
連載小説第1回・夏の別れ / 石浜みかる	124
海・船・港⑧ TORO号をたづねて	133
カメラ歳時記〈9月〉山手の小路 カメラ / 緒方しげを	136
カメラ / 米田定蔵・カット / 岡田 淳	



本格派の
人々に愛される
ヨシオカの靴



★靴のオーダーメイド

ヨシオカ

- 神戸店 大丸前 33-5190・9763
 東京店 東急百貨店 渋谷 462-3436(直)
日本橋 211-0511(代)



紳士シャツ専門店

大和屋シャツ



あなた自身の個性を
創りだすためのアトリエです



カスタムシャツのアトリエ

大和屋シャツ 国際店

神戸国際会館1階 TEL 25-0220

紳士シャツ専門店

大和屋シャツ 三宮店

三宮センター街 TEL 33-6956



佐野 漣 箕

〈神戸新聞文化事業局長〉

やるべき
郷土芸能の伝承保存

次第に名人芸とか、うまい落語家とかいわれる人が少なくなっていく。それに近ごろの落語観賞の態度は少し間違っていないか。というのは落語に文学的とか物語性とかいったものを求めすぎるのだ。落語は純粹話芸であってその語り口のみが評価されるべき性質のものなのだが、聞く方がそうだから落語家も無理に芸術づく。こうなるともはや面白くなくなる。

さる六月、文化庁主催の地方文化振興会議に出席したその席上で、民俗芸能の危機が討議された。とくに奈良の委員から「題目立」の保存について悲痛な訴えがあった青年は都会へ、村は二十五軒に減り残るは老人ばかり、この古老たちが死んだら先祖からの伝承芸能は滅びる。県に陳情すると無形文化財に指定しており映画にも録音にも収めてあると涼しい顔、県外から多くの学者が取材にきて絶賛して帰るもののが保存にどう役立つかというのだ。かつて私は県政百年の事業で伊丹南野の「麦わら音頭」を紹介したが、元来、民俗芸能は庶民の生産労働のなから生まれたもので基本姿勢はナンバである右手右足、左手左足の同時斜行の動きで田を耕やす、井戸水を汲むあの動作がそれで、だからナンバでない郷土民踊は歴史が新しいとみていい。これは生産を高めるための合理的な体の使い方の方の工夫なのだ。京舞、上方舞の古典舞踊の基本姿勢もナンバで、さらに古い能、狂言の動きもすべてナンバなのだ。これをちぐはぐな奇態などとは知ったかぶりの改悪が目立つが、これを捨て去っては伝承を見失うことになる。「麦わら音頭」にはこれらが完全な形で保存されていたので紹介したのだ。郷土芸能の危機は奈良の「題目立」に限らない。播州路の獅子舞でもはや舞えなくなったものもいくつかでてきた。地域社会に密着した新聞テレビに職ある者としてかくあるべきだという正しい郷土芸能の伝承保存を示す催しをやるべきだし、やりたいと思っているがこれも上方落語同様に個人趣味だと一笑されるのか。伝統は再創造されねばならぬ。これをぬきの芸は無価値なのだ。

寿

輝しい人生の門出は
最も交通至便のホテル
神戸国際ホテルで



挙式料 8,500円
御披露宴 2,500より

御新婚様にお二人の晚餐券及び記念品贈呈
ご一報下さい係員を参上致します。

新大阪ホテルチェーン



神戸国際ホテル

三宮・神戸国際会館内 電話(078)22-8051
神戸市葺合区御幸通8丁目9-1

お慶びの日に…

ウェディングケーキ
デコレーションケーキ
松竹梅引菓子
紅白饅頭

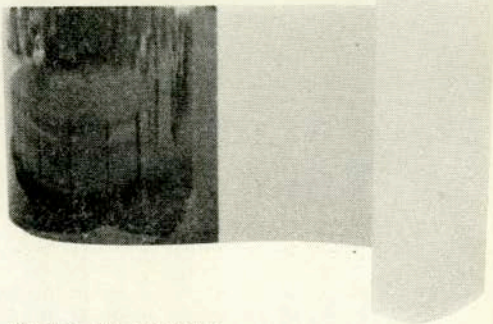


神戸にそだって 70年

扇 且月堂

元町3丁目 TEL.0782412-5
さんちかスイーツタウン TEL.0783455

随想三題



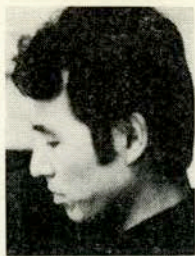
奥田善己 彫刻の森入選作品
"INSIDE OR OUTSIDE"
(440×180×170)

神戸 こうべ

コウベ

奥田善己

〈彫刻家〉



例えば、「あなたは神戸をどう
思いますか」と聞かれた場合、
われわれは多分、美しいとか、素
晴しいとか、騒々しいとか、好き
だとか嫌いだとかといったような
非常に感覚的な言葉で表現される

こたえ方をするだろう。

このような「神戸をどう思う
か」という問いに対しては、これ
でいいのだろうか、これが仮に、
「神戸について」という問いで
あったとしたらどうだろうか。恐
らくこの場合でもまた、あまり変
らないこたえになるに違いない。

このように感覚的な言葉だけで
表わされたこたえは、その一つ一
つが間違いではないとしても、
「神戸とは」との問いの場合には
充分にこたえ得たとはいえない。
それは神戸そのもののすべてを、
ほんの一部分を表わすものでしか
なく、一個人の神戸に対する感想
を述べたというにすぎないのであ
る。にもかかわらず、一人一人に

とっては知らず知らずの内に、こ
の単なる一面的なとらえ方でしか
ない神戸が、なんとなくすべてで
あるようになってしまおう。

そして結果的に、どのような同
一の対称であっても、個人の内部
では、それぞれ事実からかけはな
れたかたちで存在してしまおうとい
うことなのである。

このような誤りは、われわれが
日常あらゆる事物に対して、ただ
個々に持っている限られた認識の
中で、好みに近い感覚でとらえた
ものだけを選んで、その範囲でし
か考えようとしなないあいまいな態
度に原因があるのではないだろう
か。

しかし、だからといって、「神
戸は兵庫県の県庁の所在地であ
り、明治二十一年に市制が施行さ
れ、八区に分かれ、人口は云々」と
いった百科事典に表わされている
ような説明をいくら挙げたとし
てもまた、神戸のすべてをいいつ
くすことはできない。

事実というものは、どのような
対称に関しても、個々の感覚でそ
れぞれに感じとったものと、それ
についての認識、そして百科事典
に説明されている知識等、その他
のあらゆる関係との集約の中に存
在するのである。

われわれがこのことを絶えず意
識していなければ、目の前にあら

ゆる事物の存在をゆがめるかべが立ちふさがることになり、それがやがてわれわれの周囲を幾重にも取り囲んで、意識および認識の拡大をさまたげることになる。

そしてそれは、事物の判断に個人の感覚を先行させようとする自我でもって、さらに片寄った思考をわれわれに強い、われわれの日常のなかにますます強く根をはることになり、やがては周囲との対話も連帯をも失わせ、われわれをその厚いかべのなかの小さなゆがんだ世界に、ただ一人孤独に取り残してしまうことになるのではないだろうか。

ギリシャの山奥で

中村 茂隆

〈神戸大学講師〉



二年前の三月、当時、西ドイツのミュンヘンにいた私は、留学生仲間と四人でユーゴスラビアを縦断し、ギリシャへ旅をした。そそりたつ岩山を背景に、眼下には一面のオリブ畑が、そして、その

彼方にエーゲ海が広がるデルフィの神殿をはじめとして、数々の遺跡が私に与えた感動もさることながら、自炊しながらの自動車旅行の道々、テサロニケの卸売市場でほうれん草の大きな束をタダでもらったり、オリブ畑で働く、おじさん、おばさんに民謡をうたってもらったり——言葉は通じなくても手まねでふれあった人情の機微も、また忘れられない思い出である。

ある夕方、われわれはラヴェデアという小さな山中の町にたどりついた。男達のだむろする居酒屋からは裸電球の光、焼肉の匂いと熱気が街路にまであふれてムンムンする、そんな町に私たちは翌日の食料を買いに出て、とあるおニイさんと知り合ったのである。

彼はミュンヘンへ出稼ぎに出ており、独立記念日の休暇で帰ってきていたのだった。日本でいえはお盆の帰省であろう。ミュンヘンの街頭では夕方になると所在なげにたむろしていてドイツ人に白い眼でみられている、この人達も、ここでは「ミュンヘン帰り」のゆえに誇らしげに、背広を肩に羽織ったまま風を切って歩き、われわれの買物の通訳をしながら、根気よく店から店へ、ついてまわってくれた。「奇遇だな。一ぱいやらないか」と誘われ、好奇心の強い

私は、ためらう他の三人を強引にひっぱった。

案内されたのは地下の酒場。例によって男達がグラスを傾けており、せまいたたきでは若者と老人が向いあって肩をおとし、足をヒクヒクさせながら、至極素朴な民族舞踊を踊っていた。片隅では民族楽器のツインパロンに、ひしゃげた音を出すクラリネット、タンブリンにあわせて、片眼のデップリした、ひげもじゃのオッサンがギター片手に、これまた割れ鐘のような声で歌っていた。えんえんつづくメロディーの単純な反復は日本の口説(クドキ)を思わせ、その独特の曲調に、思わず、かかえていた携帯用テープコーダーのスイッチをいれた。一段落ついたところで、私はツインパロンの独奏を所望した。人のよさそうな禿頭のマエストロは、ニッコリ笑うとガラツと調子をかえ壮絶なカデンツァを、わがテープにおさめてくれた。ひかえめな態度ながら自信に満ちた演奏だった。ついで片眼のギター氏が、私のそでをひき俺にも一曲弾かせろという。これも緩急自在、豪快な名演奏だった。後日アテネのレストランでギリシヤ民謡をきいたが、これは洗練されていて、つまらなかった。日本を遠く離れ、こんな山奥の町で、ドブコクのような、ひなびた

味のある演奏をきき、ここにも、ひそやかに音楽ありと感じたと、それはパルテノン神殿とは別の感動を私にもたらした。私がわたそうとするチップを微笑みながら手で制し、誇りたかい田舎のマエストロ達は絶対に向けとろうとはしなかった。

晴れたり曇ったり

菊田 一郎

△神戸海洋気象台予報課長▽



月着陸が実現した今日において、天気予報の精度が不十分であることは大変残念なことです。

しかし一般の人々からは、予報に対する批難は案外少なく、むしろ予報の発表方法に対する注文が多いのはありがたいことです。

雨は一日中降ることも多いのに「一時雨」というような予報が多すぎる。予報が外れることがあるのは仕方ないことで「雨」というようなはっきりした予報をもっと多く出すべきだというような意見や天気予報が「雨」という決定的

な表現であったので、折角予定していた大事な行事を中止したが、雨は少しも降らなかつた。よほど自信がないかぎり「雨」というようなきめつけるような表現でなく「雨、ただし晴れることもありうる」というようにしてくれないかという意見があります。

第一の意見はもっともです。予報用語としての「一時雨」は予報期間の未満が雨の時に使うときめてあります。しかし実際には、予報が外れた場合の影響を恐れて、予報の表現が控え目になる傾向があるのは事実です。

第二の意見ももっともです。伝えるべき事柄を正しく表現することが大切です。しかし「雨が降るかもしれないし降らないかもしれない」というような予報では情報として価値はないので、専門家の断定があつてこそ利用が可能になります。昔「晴れたり曇ったり」ころはよつて雨」という予報文がありました。実際にこのような天気がありますが、どちらへ転んでも少しは当るといふような誤解を招くものは、利用価値が低いので今は使わないことにしています。

しかしこういふ努力をすれば、外れた場合の問題は大きくなります。予報官は、将来の気象状態を推察することが第一の仕事ですが、脳裏に描かれた未来像は常に不確

実性を伴っています。その不確実性をどのように評価して、簡潔な予報文を作るかに頭を悩ませなければならないのです。第一の意見と第二の意見は予報官の頭の中にも共存してかっとうしています。

注意報や警報になりますと利用者の立場を考えた決断が必要になります。もちろん発表の時機が一番重要で、から振りを恐れては遅れてしまいます。

しかし大雨注意報の場合は、解除する時にも発表の時以上に神経を使います。発表は不確実な状況での決断によりますが、解除は失敗した時の影響が大きいため、技術的な確信をもってしなければなりません。大雨の時は県民の心配も大きいし、神戸市だけでも七〇〇〇名が警戒に当たります。必要がなくなれば一刻も早く解除すべきですが、梅雨期に一〇〇%危険がなくなつてから解除するのでは非常に遅れます。まれにはもう一度出し直すくらい覚悟がなければ適切な解除はできません。夜遅い時など解除の後に降る小雨の音を聞きながらなかなか眠れないものです。

台風の前報でもどれだけはっきりさせて情報価値を高め、どれだけの可能性を示して安全度を確保するかが苦心のしどころになります。

★ある集い—その足あと

人は戦うことによつてのみなにかを
獲得する
そうして芸術において戦いとは
人間に与えられた苦痛である

光風会

光風会 神戸支部

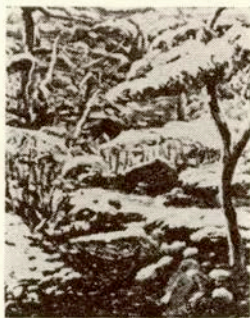
角卓

最近の美術団体の価値(もしくは存廢)について、いろいろと賛否両論がおこり、問題が生じているのが現状です。

その中であつて、光風会も全国的に第一を誇る伝統と内容をもつて、明治四十五年第一回展を開催以来、本年四月で五十五周年を迎え、全国的に芸術活動を展開しております。画風としましては、近代のアクション、ポップ、記号派といった前衛的傾向はないが、新しい具象という空間の次元を探索している、いわば穩健な世界を求められているといえるが、第一回展の目録には、本県の故新井完先生の受賞の記録、また、十七回展では

小磯良平先生、角野判治郎先生(本神戸支部の生みの親)が会員に推挙、須田烈太先生もかつては受賞記録をもつておられるなどが、目に止まります。そして、それぞれの諸先輩が、日本洋画壇の中でも雄渾な姿勢で、光風会、日展にもすぐれた作品を発表しておられる洋画の草分けはともいえる存在で現在、光風会本部絵画部会員、会友合わせて三五五名の陣容です。

そうした本部活動の中で、昭和二十五年、故角野判治郎、久本弘一両氏を中心に数名で神戸光風会を結成、昭和三十四年には十周年記念事業を展開、それぞれの個性を發揮し、制作に人生の生きる場を求め、現在では支部会員六十八名にのぼる多勢にまで發展してま



庭の雪 角野判治郎

す。支部会員の言葉として「人は戦うことによつてのみなにかを獲得する。そうして芸術において戦いとは、人間に与えられた苦痛である」

このことばを姿勢として、最近

では穩健な画風の伝統も、新しい次元で、自然の中で、空間的フォルムの探求へと、ややもすると描写的絵画から脱皮してダイナミックな造型絵画とヒューマンをキャンパスの中に定着させている。

神戸支部の新しい刺激として、



久本弘一氏

新人発掘もあつて、具象の世界を求めめる人を養成することを目的とした、県下公募具象新人展を毎年開催し、年々作品も増数の一途で活気がみなぎってきております。春には東京本展に出品、秋には日展出品と日夜制作を離れることのない支部会員の生活態度であります。

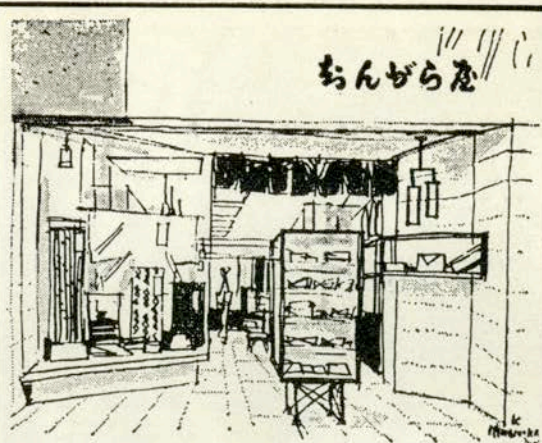
こうした基盤も生みの親、角野久本両氏の俗人を離れた絵画のみの生活態度、川端、兼行両氏の学的造型論、角、矢野、岩本、藤原のアクション的情熱、これらが支部の原動力となつて新しい造形の世界を求めようとする若人の夢を大いに伸ばしたいと念願し、この二十周年記念を大切にしようとしています。

晴れの日の
ウェディングケーキ
6,000円よりご用命承ります



北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト

本・社・工・場 ■ 神戸市真谷区新内町1 (市立美術館東隣) TEL22-1164・9865
 三宮センター店 ■ 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL33-2421・4314
 生・田・店 ■ 神戸三宮生田筋(路上喫茶室) TEL33-0156・7343
 さ・ん・ち・か・店 ■ 神戸三宮地下街スイーツタウン TEL39-3558



きものと細貨
おんがら屋

神 戸

西 店/三宮センター街・電話 33-8 8 3 6 (代)

東 店/三宮センター街・電話 33-0 6 2 9

三宮店/さんちかタウン・電話 39-4 3 0 3

東 京

銀座店/銀座並木通・電話573-5 2 9 8 (代)

渋谷店/東 意 本 店・電話462-3 4 0 9 (直)

日本橋店/東意日本橋店・電話211-0 5 1 1 (代)

(4 階和装名家街)

(内線294)

世界の人々に
愛される
キタムラパール



Kitamura Pearls

北村真珠店

元町通2丁目60 TEL 33-0072



晴れの日を飾る
ウェディングケーキ

5,000円より
披露宴・オードブル承ります



神戸本店 33-0021 ・ 三地下店

甲子園店・豊中店・六甲店